

産業建設常任委員会活動レポート

開催日：令和6年4月9日(火)

開催場所：1・2号委員会室

学校法人岩谷学園様と懇談会を開催し、次のとおり説明や報告をいただきましたので紹介します。

学校法人岩谷学園様との懇談会

1. 学校法人岩谷学園について

法人名：学校法人岩谷学園

本部所在地：神奈川県横浜市

事業内容：各種専門学校、高等専修学校、認定こども園、保育園など

2. これまでの経緯

(1) 誘致の会

(一社)中標津青年会議所が中心となり、地方での専門学校を計画している岩谷学園に誘致を働きかけ、平成30年12月に青年会議所関係者や町内有志により「中標津岩谷学園誘致の会」を設立。また、中標津町、中標津町教育委員会、中標津町商工会がオブザーバーとして参画し官民協働による誘致の環境整備に向けた協議を進めてきました。

(2) 連携協定の締結

令和元年6月、学校法人岩谷学園、誘致の会、中標津町、中標津町商工会の4者で、日本語学校の開設及び留学生の受入を円滑に進めるとともに、開設後の地域に根差した日本語学校の運営を進めることを目的として連携協定を締結。

3. 学校概要

○岩谷学園ひがし北海道日本語学校

- ・令和3年旧若竹小学校跡に開校（学生数100名2年制）
- ・令和4年度9名、5年度40名、6年度35名入学

○岩谷学園ひがし北海道IT専門学校

- ・令和6年度開校（農業酪農ITコース、商工業観光ITコース）
- ・令和6年度4名入学
- ・地域貢献事業（講演会、研修会、プログラミング教育）を多数実施

【主な質疑】

委員：ＩＴ専門学校でドローンの授業などに一般社会人が参加できる制度は考えていますか？

岩谷学園：様々な職種の方がテクノロジーに触れる機会があれば良いと思っています。酪農家さんからもそのような声が聞こえることから、授業に支障のない範囲で研究します。

委員：本町の外国人財誘致推進事業は岩谷学園さんと連携した事業ですが、成果をどのように考えていますか？

岩谷学園：町独自の奨学金制度は大変素晴らしいと考えています。町からの支援があることで多くの人の中標津を目指しています。また、事業の目的、成果については共有できています。

委員：岩谷学園さんが100%出資しているアンドネットという会社は監理団体ですか？

岩谷学園：違いますが、他の監理団体と連携することで監理団体としての業務が可能です。

委員：日本語学校のパンフレットで、北海道の部分をもう少し細かい内容を掲載することはできますか？

岩谷学園：海外の学生に説明するときには丁寧に説明していますが、今後検討します。

委員：日本語学校の生徒がＩＴ専門学校に進学することは想定していますか？

岩谷学園：基本的に道東の子ども達がメインですが、海外からもＩＴ専門学校に進学したいという希望が多くあり、留学生を受け入れる仕組みを来年度から作ります。

委員：学生のほとんどが富裕層と聞いていますが、奨学金が必要のない学生はいますか？

岩谷学園：母国では富裕層ですが、日本との物価の違いのため支援を必要としています。

委員：日本語学校の生徒が寮生活を送るうえで、イスラム教の生徒の食事はどのようにされていますか？

岩谷学園：Aコープあるさんと協議し、ハラールコーナー（イスラムで許されている食材）を設置していただき、そこで食材を調達しています。

委員：当町にテレワーク誘致事業というのがありますが、なかなか宣伝が難しく利用企業が増えない状況です。岩谷学園さんにも協力いただけるでしょうか？

岩谷学園：プログラミング教育を一緒に行っている神奈川工科大学の学生が既にその制度を利用しています。関係者にPRしながら大学との交流を進めていきます。